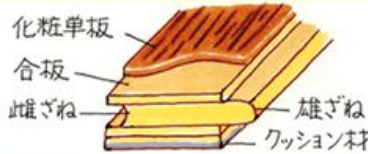


フローリングのメンテナンス

フローリングには、つぎのような種類があります。
単層フローリング…無垢板や 集成材のみでできている
複合フローリング…合板などの表面に 化粧単板をはっている。もっとも需要が高いのは、複合フローリングで サクラ・ケヤキ・ナラなどの 薄い単板をはったものと、強度を高めるため プラスチック樹脂加工をした WPC床材があります。

一般的な複合フローリング材の構造



さね加工をした合板に、0.3mm～2mm厚の単板が表面にはってあります。
単板に樹脂を充填したWPCは、0.6mm厚程度。
施工の際は、雌ぎねに 雄ぎねをはめて並べます。

- 普段のお手入れは、掃除機がけやふき掃除が基本です。
- **木が劣化してしまうので、水拭きはひかえます。**
- 放っておくと、小さなキズがついたり、汚れがついて拭いても落ちにくくなるので定期的にワックスをかけて、保護膜をつくっておきましょう。
- とくにキズがつきやすい場所には、マットなどでカバーしておくといでしょう。

表面の塗装が はがれた程度のキズ

マニキュアタイプの木部補修材を使用する。

色を選んで着色する

まわりの色より薄めの色を選び、キズに沿って塗っていく。重ねて塗ると濃くなるので、加減しながら全体を塗る。

木目を描き足す

細かい木目を描き足すには、少々コツがいる。筆先で少しずつまわりの木目をつなげるように色をのせていく。乾いたら完成!!

面積は小さいが、表面の板がけすれている 深いキズ、くぼみ

クレヨンタイプの木部補修材を使用する。

1

ドライヤーで温める



フローリングに近い色を選び、ドライヤーを当てて やわらかくする。

2

キズに塗りこむ



キズを埋めるように塗りこむ。
すき間なく埋めるには、縦・横・斜めと方向をかえるとよい。

3

色をまぜる場合



近い色がない場合は、数色混ぜて 色を作る。
補修材を カッターで切り取り、スプーンにのせ ライターであぶって溶かす。

4

キズに流し込む



楊枝などで 色を混ぜたら、溶けているうちにキズに流し込む。
表面張力で盛り上がる程度に、少し多めに充填すること。

5

ヘラで平らにする



熱が冷めて固まったら、付属のヘラで 余分をかきとり、平らにする。
必要であれば、模様を描き足し、周囲を ウエスで拭く。

大きなクボミは、パテで埋める・・・

陥没やキズや欠けの面積が広い場合は、木部用のエポキシパテを使用する。乾燥するとしっかり硬化し、上から着色することもできます。着色には、マニキュアタイプの補修材か水彩絵の具＋ニスで!!

1
パテ埋めの準備



作業前に清掃。サンドペーパーでバリをとっておく。
皮膚の弱い人は、ビニール手袋をしてパテをカッターで適量切り取る。

2
パテを埋める



よく練り合わせたパテをキズにしっかり埋め込む。
キズまわりに付着しないようにマスキングテープを貼ってもよい。

3
表面を仕上げる



乾燥・硬化したら、カッターを寝かせて盛り上がり部分を削り取り、サンドペーパーをかける。
必要なら着色して仕上げる。

ワックスをかける・・・

表面に保護膜をつくり、キズを防止するワックス。複合フローリングには手軽に使える樹脂ワックスをおすすめします。一般的には、値段が高いものほど効果が持続するといわれています。塗り方は簡単ですが、**少量を薄くのばす**のがポイントです。

1
床を掃除する



作業前には掃除機をかける!!

部屋の家具などを移動し、全体に掃除機をかけて乾拭きする。
ひどい汚れは、住宅用洗剤で落としておく。

2
必要量を計る



キャップ1杯約5ml

部屋の広さに適した必要量は、使用するワックスに表示してある。
計量は、ペットボトルのキャップが便利。
1杯は約5ml。

3
ワックスをまく



必要量をはかりながら、床にワックスをまく。
大量に使用すると、ムダなばかりかフローリングの変色の原因になるので注意!!

4
ワックスを薄くのばす



手が荒れないように、ビニール手袋をはめ、ウエス(布)で素早くのばす。
けばだちの少ないウエスを選ぶこと。

5
乾燥させる

全体にムラなく、薄くのばしたら、乾燥させる。
ツヤが出て、表面の細かいキズも目立たなくなる。

ワックスを塗るときは順序を決めて効率よく塗ろう!!



必ず部屋の奥から塗りはじめ、出入口で塗り終わるようにする。